

# 劇遊びを通して

R 8. 2. 13



1月からみかん組では劇遊びを楽しんでいます 😊

ある日廃品を繋げて何かを作っていたM君とAちゃん。

会話を聞いてみると「だれだ、おれのはしをがたびしさせるのは」と

3匹のヤギのがらがらどんの台詞を言っていました。

別の日、戸外で遊んでいるとTちゃんとRちゃんがじーっと畑で肥料をまいている人を見て

「あまいあまいかぶになれ、おおきなおおきなかぶになれ」と

おおきなかぶの台詞を口ずさんでいました。

日頃の劇遊びをしている中で、保育士も一緒に楽しむのはもちろんですが

子どもたちなりにお客さんの目線に立てる子もあり

楽しんでもらえる劇にしたらどのようにしたらよいか、もっとよい劇になるには…と  
気づかぬうちに子ども達より大人の方が思いが先走ってしまう場面が正直ありました。

しかし、そんなに大人がどうこう考えなくとも子どもたちの中では自然の営みを通して  
お話をしっかり浸透しているのだと感じた場面でした。保護者の方に見せるための劇ではなく、  
子どもたちなりに考えた劇を見てもらう事が大切なのだとと思いました。